

自民系の東近江市民クラブ

月1回

市議会議員が勉強会

政策立案と監視機能強化へ

東近江市議会の自民系最大会派・東近江市民クラブ（畠博夫代表、十七人）は、今年に入つて毎月一回、各回ごとに設けた課題テーマに沿って、担当部課長から説明を受けるなどして、議員の能力アップに向けた勉強会を開いている。〔写真〕

一市六町が合併し積み残した地域課題を抱える中で、面積は鈴鹿から琵琶湖まで県下三位、人口も十二万都市と一緒に膨れ上がったことから、地域工事をぬぐい去り、全市的な将来発展に向けた立つのか、議会の役割や

議論が必要として、議員自らの資質向上を目的に勉強会を開くことにした。住民の行政に対する意識、要望が多様化する中、議会（議員）が地域、住民の利益にどのように役立つのか、議会の役割や

存在意義についての認識をなお一層深めることができ、との会派内の意見一致をみた。

さるに、議会が行政の監視役となる以上、議員は議会で認識を深め、意見を交換する場を設定したことは、これまで以上の議会活動に期待がかかる。

これまで、一月の「長期的な視点に立った政策ビジョンを持たなか



れば、議会の存在意義は薄れる。それには、知り得た議会情報を公開し、住民と共に議論を深め、民意動向を測り知ることも議員活動の一つ。

議会が監視機能とともに政策立案機能を發揮するには、行政執行部に負けないだけの政策論争も必要になってくる。この機能を十分に果たす上においても、会派内の勉強会活動に意を用ひられる。おいても、会派内の勉強会で認識を深め、意見を交換する場を設定したことは、これまで以上の議会活動に期待がかかる。

これまで、一月の「長期的な視点に立った政策ビジョンを持たなか

【愛東】澤田康弘【湖東】河並議員、二月「介護保険・国健保」（担当・小林議員）、三月「旧六町商工会問題」（担当・澤田議員、四月の「観光」（諭問）、五月の「教育」（諭問）を終え、五月は「教育」をテーマに周防議員が担当することにしている。東近江市民クラブの構成メンバーは次の通り。敬称略。カッコ内は選挙区。

【八日市】畠博夫、周防清二、中村肇、小林優一、中村肇、小林優一、吉澤克美【永源寺】河並義一、吉澤克美【五個庄】前田清子、寺村茂和、諭訪一男